

スポーツ実施とスポーツ観戦の関連性の研究—Vプレミアリーグの観戦者を事例に—

A study of relation between playing sports and watching sports

—Case study of V premia league—

1K07B182-3 藤岡 成美

指導教員 主査 間野 義之先生 副査 岡 浩一朗先生

I 研究背景

スポーツ界全体の発展には、バランスの良いスポーツ振興が必要である。間野 (2007) は、「スポーツには『する・みる・ささえる』の3つの側面がある。この3つの層がバランスよく増えていかないと、結局は『する』人も増えない。」と述べている。

スポーツ実施とスポーツ観戦の関連性に関する研究には、スポーツ実施がスポーツ観戦に与える影響(「する」から「みる」)に関する研究 (Shamir and Ruskin(1984)、Godbey and Robinson(1979)) と、スポーツ観戦がスポーツ実施に与える影響(「みる」から「する」)に関する研究 (林ら(2004)、醍醐ら(2010)) が存在する。しかしどちらの研究も影響があるというものと、そうでないという相反する結論を述べたものが存在する。以上よりスポーツ実施とスポーツ観戦の関連性に関する研究は十分とは言い難く、この関連性を明らかにすることで「する」スポーツと「みる」スポーツの両者が連携しながら発展する一助となりうると考える。

II 研究目的

本研究ではVプレミアリーグの観戦者を事例に、スポーツ実施とスポーツ観戦の関連性を明らかにすることを目的とする。

III 研究方法

VプレミアリーグでB県を本拠地とするチームAのホームゲームに訪れた13歳以上の観戦者を対象に、2010年3月6、7、20、21日の計4日間に調査を実施した。配布数は5000、回収数は2045、回収率は40.9%であった。調査内容は過去1年間のバレーボール観戦回数、バレーボール行動変容段階の他に、人口統計学的変数と過去のバレーボール実施経験を項目に設定した。分析はバレーボール観戦回数を従属変数、バレーボール行動変容段階を独立変数とするKruskal Wallis検定を実施した。多重比較にはMann-whitney検定を実施した。本研究ではサンプルの分析のためにPASW Statistics18を使用した。

IV 結果

分析の結果、バレーボール行動変容段階と過去1年間のバレーボール観戦回数との間に0.1%水準で有意差が認められた。各バレーボール行動変容段階における過去1年間のバレーボール観戦回数の中央値は、無関心期が4.0回、関心期が3.5回、準備期が3.0回、実行・維持期は2.0回であった。また多重比較の結果、実行・維持期と無関心期・関心期・準備期との間に5%水準で有意差が認められた。

| | バレーボール行動変容段階 | | | | χ ² 値 | 多重比較 |
|---------------------|-----------------|---------------|---------------|-------------------|------------------|-----------|
| | 無関心期 (N=615) | 関心期 (N=64) | 準備期 (N=95) | 実行・維持期 (N=282) | | |
| 過去1年間のバレーボール観戦回数中央値 | 4.0 | 3.5 | 3.0 | 2.0 | 87.480*** | 無・関・準>実維* |

*: p<0.05

V 考察

結果より、運動行動変容段階とスポーツ観戦回数は負の相関関係にあることが明らかになった。つまりスポーツ実施とスポーツ観戦は負の相関関係にあることが言える。

このような結果になった要因として、調査の回答者に①女性②低所得者③過去のバレーボール実施経験がある人の割合が多かったことが挙げられる。また早川 (1996)、宮本 (2006) は「する」スポーツと「みる」スポーツの関心の分離を述べた。つまりスポーツ実施もスポーツ観戦も、ある程度までいくとその先はどちらか一方に力を入れるようになるということである。そのためこのような結果となったと考えられる。

今後の課題として、本研究ではVプレミアリーグの観戦者を対象に調査を実施したが、対象の競技と観戦の形態を変えると、関連性の有無と相関関係に違いが現れる可能性がある。さらにスポーツ観戦がスポーツ実施に影響を与えるのか、スポーツ実施がスポーツ観戦に影響を与えるのかについての因果関係までは、本研究では明らかにすることができなかった。スポーツ実施とスポーツ観戦の関連性に関する研究はこれまで多くされておらず、今後も継続して行う必要があるだろう。